

文献紹介

関連雑誌の特集

医学図書館. 2005 ; 52 (4)

特集：研修会・勉強会案内

- 特定非営利活動法人日本医学図書館協会関連行事
- 生命科学関連分野（医学・歯学・薬学・看護学・生物学 etc.）
- 図書館情報学関連分野

薬学図書館. 2005 ; 50 (4)

特集1：薬学教育6年制時代を迎えて

- 今後の薬学部の6年制について
- 薬学系図書館の学習支援における今後の課題
- 薬学部図書館の今後の使命

特集2：薬図協の活動この10年

- 実態調査からみた薬図協この10年
- 年表

日赤図書館雑誌. 2005 ; 12

特集1：ヘルスサイエンスライブラリーの構築

- これからの医学図書館
- 病院図書館員に求められるコンピテンシー
- 「動きのある図書館」をアピールするテーマ展示－情報編集によるアナクロサービス戦略の提案－

• 医師の臨床研修と図書室－東邦大学佐倉病院図書室の場合－

特集2：患者への図書サービス～地域の動き～

- 患者用図書館の設置を求めて－市民団体としての活動と考へ－
- 患者図書館を利用して
- 静岡県立こども病院図書室と地域連携

現代の図書館. 2005 ; 30 (3・4)

特集：図書館における医療・健康情報の提供

- わが国の公共図書館による健康情報提供に関する実態調査
- EBM と図書館員
- 病院における患者・家族への医学・医療情報提供の現状－病院図書室と患者図書室
- 国立ライフサイエンス情報センター（仮称）の可能性－公共図書館と医学図書館のネットワーク
- 市町村健康政策に応じた公共図書館の健康情報サービス－「健康日本21」における保健所との連携
- 北米の公共図書館における健康情報サービス

図書館

医師の臨床研修と図書室－東邦大学佐倉病院図書室の場合－

下原康子

日赤図書館雑誌. 2005 ; 12 (1) : 19-22.

卒後臨床研修必修化に対する、東邦大学佐倉病院図書室の実践事例報告。

新臨床研修制度における病院図書室の役割－図書室担当者と研修医へのアンケート調査からの分析－

天野いづみ

静岡赤十字病院研究報. 2005 ; 25 (1) : 6-11.

臨床研修指定病院の図書室に求められる、臨床研修に必要な資料、文献データベース、インターネット環境、24時間開館等についてアンケートをし、93病院の図書室担当者として383名の研修医

文献紹介

から得た回答をまとめている。

大学図書館アウトソーシングの行方

佐々木克彦

図書館雑誌. 2005 ; 99 (11) : 780-3.

筆者は大手書店勤務時代に図書館アウトソーシング業務の開拓を経験し、その後私立学校法人に転職した。図書館業務におけるアウトソーシング事情を忌憚なく述べていて面白い。図書館サービスについて考えさせられる。

患者図書館

病院における患者・家族への医学・医療情報提供の現状

有田由美子ほか

現代の図書館. 2005 ; 43 (4) : 199-207.

病院図書室研究会のメンバーによる患者図書館に関する現状の概説。よくまとまっている。

患者図書館を利用して

山木ルリ子

日赤図書館雑誌. 2005 ; 12 (1) : 27-34.

元図書館員が乳がんになり、患者図書館「あすなる図書館」を利用した患者仲間にアンケートをした。6 ページにわたるアンケート結果は参考になる。

その他

国立ライフサイエンス情報センター(仮称)の可能性—公共図書館と医学図書館のネットワーク磯野威、阿部信一

現代の図書館. 2005 ; 43 (4) : 208-15.

今後当協議会も協力していく「国立ライフサイエンス情報センター(仮称)」構想を概観することができる。

日本の EBM 揺籃期を総括する

河合富士美

医学図書館. 2005 ; 52 (4) : 364-8.

EBM はブームだったのだろうか？日本における EBM の歴史を解説、EBM とは何かの理解の一助になる。

ブックカバー技

[堀渡]

ず・ほん. 2005 ; 11 : 4-15.

ブックカバーをかける際に、カバーや函を貼り込めばそこにある情報を生かすことができる。その作業工程が細かく写真で解説されている。

- 文献の入手は、所蔵館へお申し込みください。
- 「情報の科学と技術」は協議会で購読しています。
- 興味ある文献を分かちあいましょう。参考になる文献がございましたら、会誌編集部までお知らせください。